

ガーデンシンク クラッシー

※施工後は必ず施主様に取扱説明書をお渡しください

この度は、当社商品をご購入いただき誠にありがとうございます。

商品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。また読み終わった後も必ず保管してください。

安全に使っていただくために

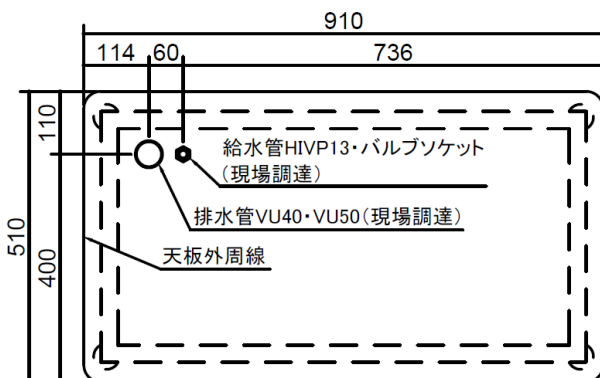
- 天板を持って、持ち上げたり、移動させたりしないでください。破損する恐れがあります。移動するときは、フレームを下から持ち上げておこなってください。
- 商品に寄り掛かったり、のぼったり、ぶら下がったりしないでください。破損する恐れがあります。
- 寒冷地用製品ではありません。凍結の恐れのある地域では、別途水抜き栓を設置し、配管内の水を抜いてください。
- 水栓（蛇口）先端の泡沫金具は、凍結により破損しやすい部品が内蔵されています。凍結が考えられるときは、使用後に、泡沫金具内に水が残らないようにタオル等で吸い取っていただくか、泡沫金具ごと取り外して凍結しない場所に保管するようにしてください。破損してしまったときは、お近くのホームセンター等で内部部品をお買い求めください。（メーカー：(株)カクダイ。品名：泡沫内芯。品番：0792。）
- 陶器に熱湯を注がないでください。また、陶器に硬いものを落とさないでください。破損する恐れがあります。
- 陶器にひびが入ったり、割れたりした場合、破損部を素手で触らないでください。ケガをする恐れがあります。
- 陶器にひびが入ったままで使用しないでください。ケガをする恐れがあります。
- 砂、土が付いたまま洗わないでください。排水管が詰まり、排水不良の原因になることがあります。
- 炊事や洗濯などから排出される生活排水は、設置した地域の法令に従い、適切な排水工事を行ってください。
- 製品表面は塗装仕上げですので、衝撃や擦れなどにより欠けたり、はがれたりする恐れがあります。取り扱いには十分にお気を付けてください。
- 古木から型を取って製造していますので、寸法にはバラつきがあります。また天板表面などに凹凸があります。ご理解の上、ご使用ください。
- 製品の特性上、表面に気泡がある場合があります。また、手作業での色付けのため、色にはバラつきがあります。

施工時の注意点

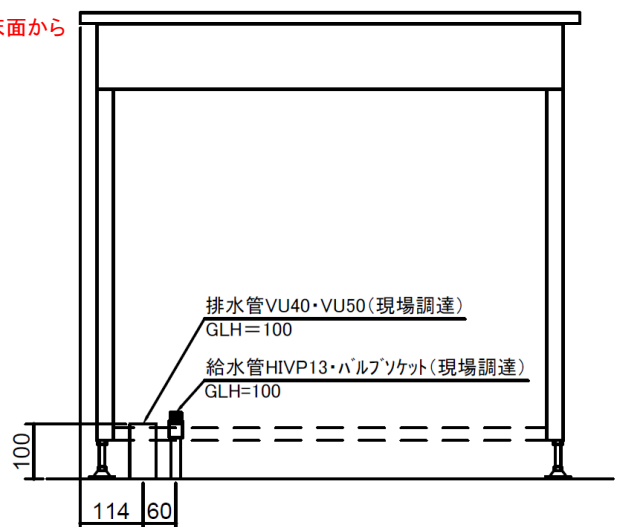
- 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 陶器に対するネジを締めすぎない。また、前板、側板等 GRC 製の板材に対してもネジを締めすぎないでください。
- 施工後に漏水検査を必ず行ってください。
- 天板を持って、持ち上げたり、移動させたりしないでください。破損する恐れがあります。移動するときは、フレームを下から持ち上げておこなってください。
- 商品が動いたり、転倒したりすることがないように、アンカーボルト等でしっかりと固定してください。

給排水管施工位置

※ラージシンク、ステンレスシンクのパイプ排水仕様は、床面から出す排水管が VU50 です。その他の場合は VU40 です。



平面図



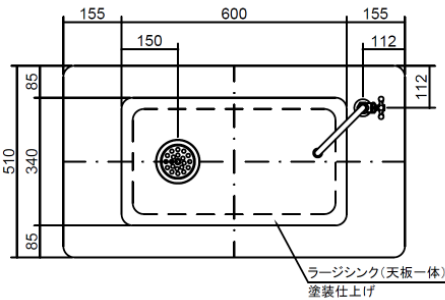
正面図

ガーデンシンク クラッシュー 標準施工図

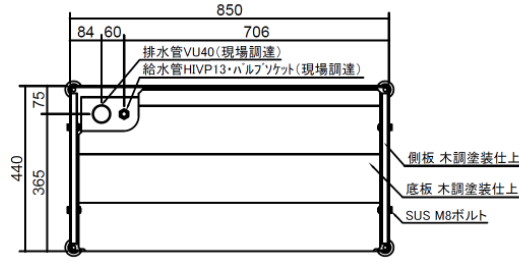
※図はホース排水仕様ですが、パイプ排水仕様も給排水施工位置は同じです。

ラージシンク(天板一体)

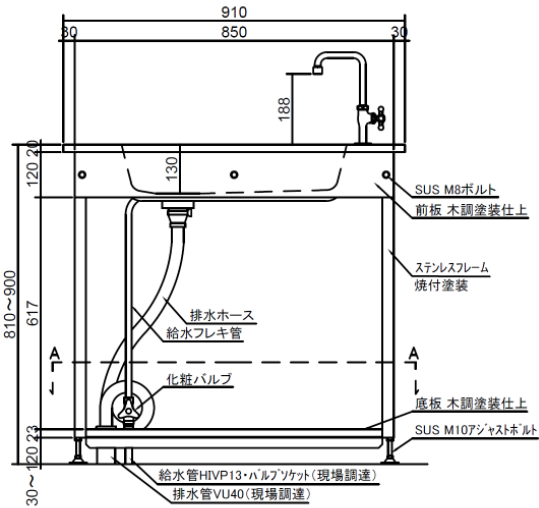
※ラージシンク、ステンレスシンクのパイプ排水仕様は、床面から出す排水管がVU50です。その他の場合はVU40です。



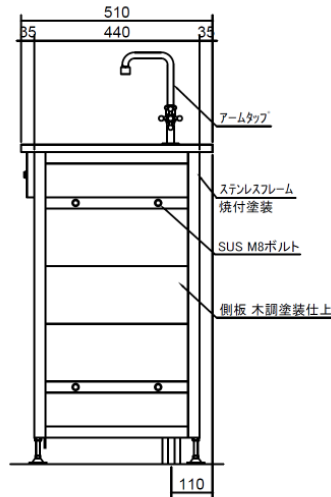
平面図



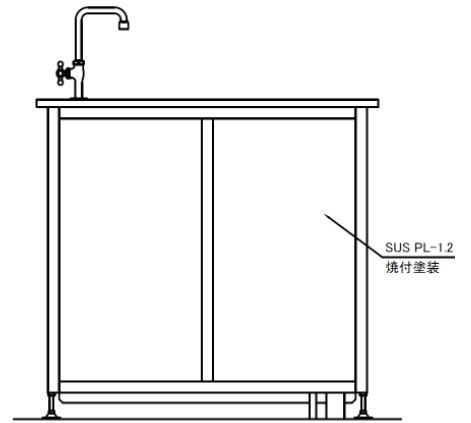
A-A断面・給排水管位置図



正面図

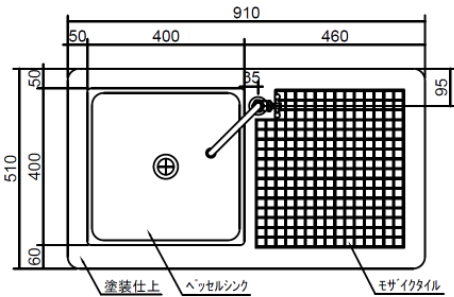


側面図



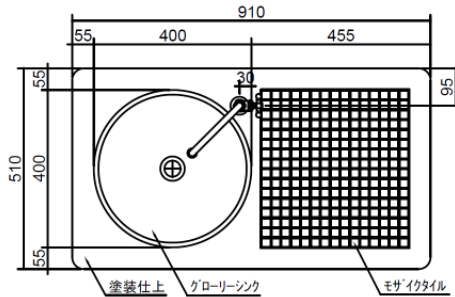
背面図

ベッセルシンク(タイル天板)

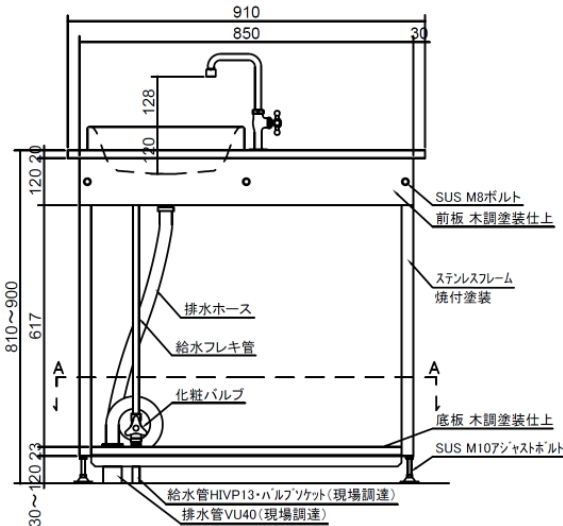


平面図

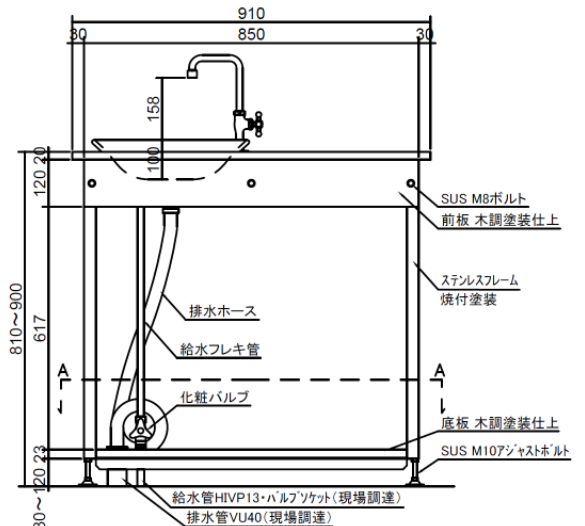
グローリーシンク(タイル天板)



平面図

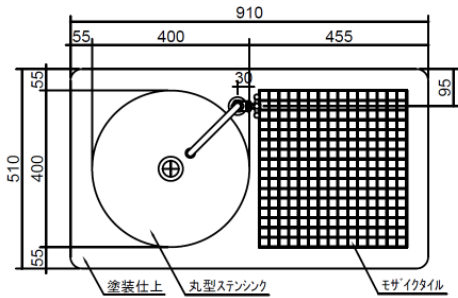


正面図

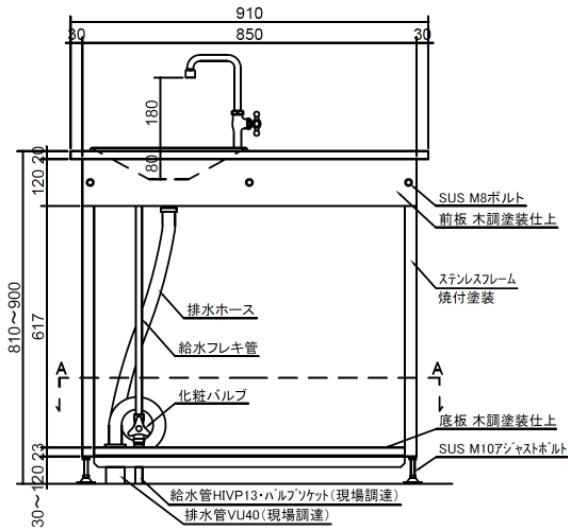


正面図

丸型ステンシンク(タイル天板)

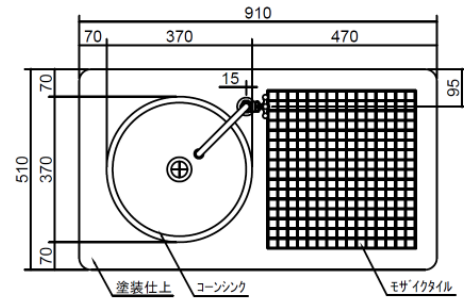


平面図

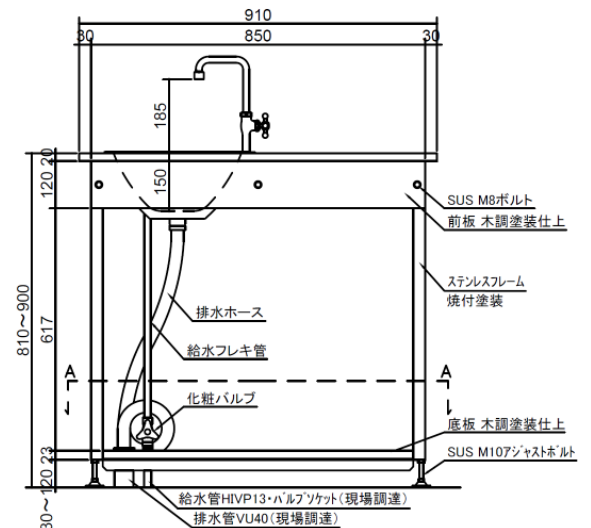


正面図

コーンシンク(タイル天板)

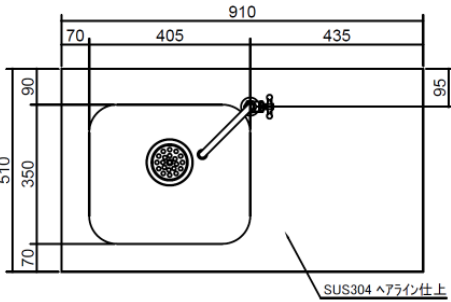


平面図

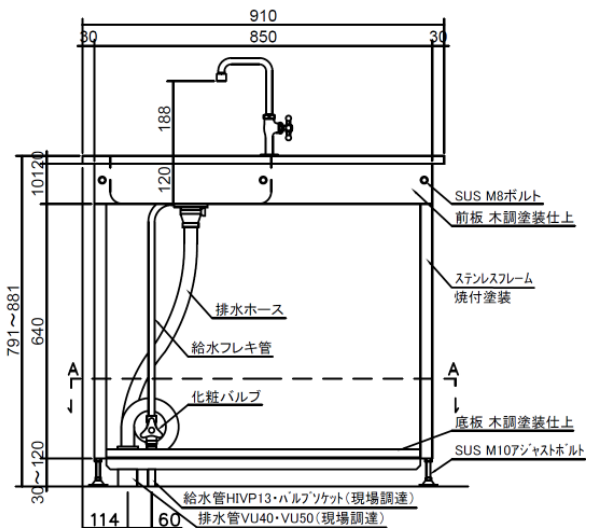


正面図

ステンレスシンク(天板一体) ※ラージシンク、ステンレスシンクのパイプ排水仕様は、床面から出す排水管がVU50です。その他の場合はVU40です。

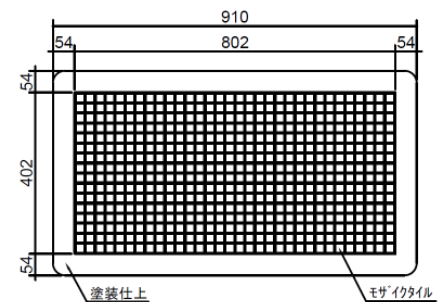


平面図

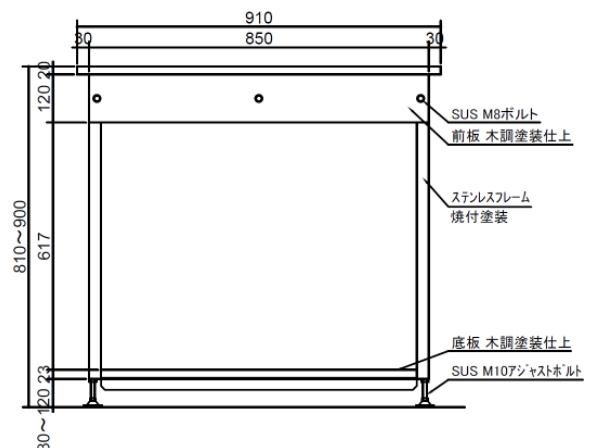


正面図

シンクなし



平面図



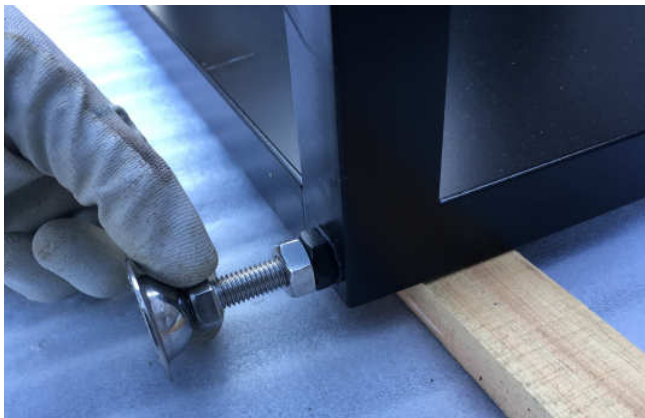
正面図

※図は天板がタイル仕様ですが、ブラウン色、ホワイト色も寸法は同じです。製品の特性上、寸法は概数です。

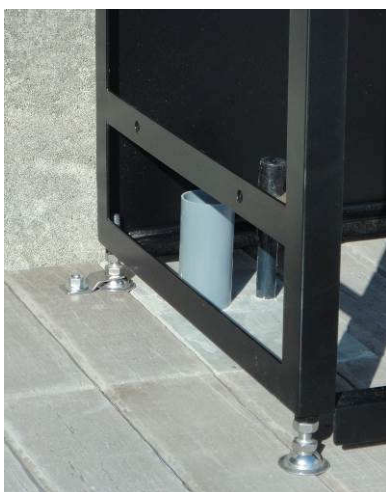
施工要領



- ① バルブソケットをつけた給水管(HIVP-13)と、排水管(VU40、ラーズシンク・ステンレスシンクのパイプ排水仕様は VU50)を給排水管施工位置図の位置に床面から 100mm出しておきます。(バルブソケット、給排水管は現場調達品です。)シンク施工直前にフラッシングをして、給水管内の異物を洗い流しておきます。



- ② 養生シートの上にフレームを寝かせて、底面からアジャストボルト4本をねじ込みます。



アジャストボルト押さえ金具とアンカー



- ③ フレームを施工位置に置き、傾斜、凹凸、使用する方の身長(身長÷2+5cmが標準)に合わせて、水平になるようにアジャストボルトのねじ込み量を調整します。付属のアジャストボルト押さえ金具とアンカーボルトで固定します。(アンカーボルトは十分な荷重に耐えられるものを、施工する床材に応じて現場で手配してください。本体が動いたり、転倒したりすることがないように、しっかりと固定してください。)



- ④ 側板をフレームの上から入れて(写真のように斜めに持って、一旦床面に降ろしてから)、フレームの穴の位置と合わせてボルトで取り付けます。このとき、ボルト側(外側)にワッシャーを、ナット側(内側)にゴムワッシャーとワッシャーをかませます。側面ハンガーバーを取り付ける場合は、ハンガーバーに付属の長いボルトを使用します。扉付きタイプは扉板を側板同様に取付けます。



- ⑤ 底板の給排水用の切りかぎ部分を左手で持ち、フレームの前側から差し入れ、床板の右側からゆっくりとフレームに乗せます。シンクなしの場合は左奥の切りかぎを付属の板でふさいでください。



- ⑥ 前板を取り付けます。前板は付属の長いボルトを使用します。このとき、ボルト側(外側)にワッシャーとゴムワッシャー、ナット側にワッシャーをかませます。前面ハンガーバーを取り付ける場合も同じボルトを使用します。



⑦天板を乗せる前に、緩衝テープをフレームの上面に貼りつけます。穴をふさがないように外側いっぱいに貼ります。(ステンレスシンクは貼りません。)

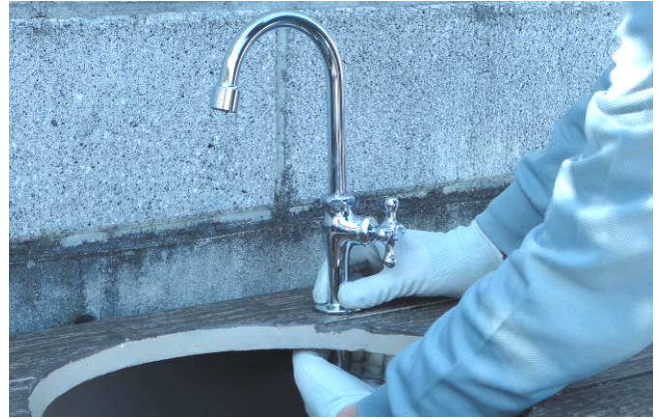
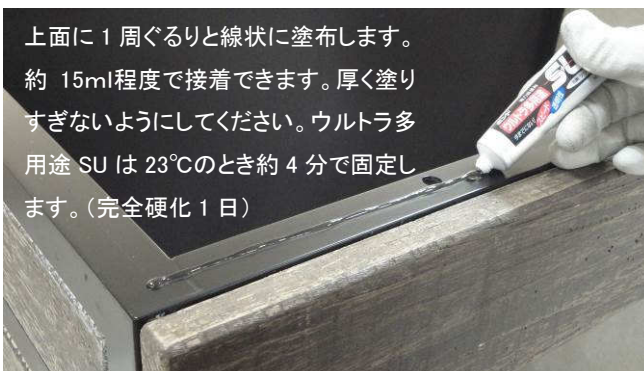


⑧天板は形状によって、破損しやすい箇所がありますので、丁寧に取り扱いてください。オプションのチェックパネル、ロートアルミパネルを取り付ける場合は、養生シートの上で天板にパネルを置き、穴位置にしるしをつけ、天板の下に板を当てて、8~10mmのコンクリートドリルで穴を開けておきます。(先に細いドリルでガイド穴を開けると正確に穴が開けられます。)



⑨天板をフレームに乗せます。フレームの下側からゴムワッシャーをかませた、ブラッシュクリップを天板の3か所の穴に差し込み固定します。ブラッシュクリップの入りが浅いときはゴムワッシャーをはずしてください。
ステンレスシンクの場合は、フレーム上面に弾性接着剤を写真のように塗布し、すぐにシンクをかぶせて圧着します。
(当社取扱の「**ウルトラ多用途 SU**」(25ml)を推奨します。)

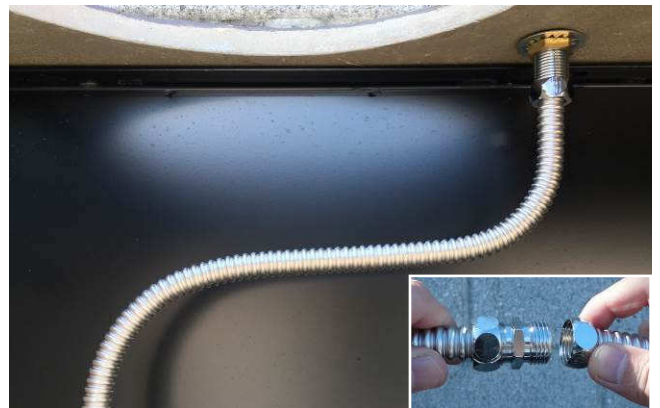
上面に1周ぐると線状に塗布します。
約15ml程度で接着できます。厚く塗りすぎないようにしてください。ウルトラ多用途SUは23°Cのとき約4分で固定します。(完全硬化1日)



⑩天板の穴にタップを取り付けます。



⑪床面から出ている給水管に化粧バルブを取り付けます。オプションのホース用分岐タップを取り付ける場合は、化粧バルブの上に取り付けます(ゴムパッキンがない接続箇所はシールテープを右巻きに7~8回巻きます。)



⑫給水管側と天板に取り付けたタップをフレキ管で接続します。フレキ管は手で曲げられますが、半径50mm以上の緩やかなカーブで曲げます。また、継手の近くでは曲げないようにしてください。水漏れの原因になります。ラージシンクの場合は、フレキ管用ニップルで、フレキ管を接続して延長してください。

ホース排水仕様の場合



⑬シンクを天板の穴に入れ、排水金具を取り付けます。排水金具に排水パイプを差し込み、締め付け金具で抜けないように締め付けます。(丸型ステンシンクは排水金具付きで納品されます。)



⑭反対側の先端をハサミ等でカットし、防臭キャップに差し込みます。臭いが上がってこないようにするため、排水管を一周ねじり、床面から出しておいた排水管に固定します。(次⑮へ)

パイプ排水仕様の場合



⑬シンクを天板の穴に入れ、排水金具を取り付けます。(丸型ステンシンクは排水金具付きで納品されます。同梱の排水金具は使用しません。)写真のようにテングテールパイプ(片ツバ偏心パイプ)を接続します。



⑭床面から出しておいた排水管にクリーンパッキンを取り付けます。写真のように排水パイプ(Sトラップ)を接続したときに、クリーンパッキンに3cmほど差し込める長さに排水パイプの下端をカットし、隙間がないように接続します。(水で濡らすとクリーンパッキンが滑り、施工しやすくなります。)



⑮シンクの周囲をマスキングテープで養生し、コーキングします。ベッセルシンクはシンクに付属の取扱説明書をご覧ください。ベッセルシンク付属の排水金具のゴム栓についているチェーンは使用しませんので取り外してください。

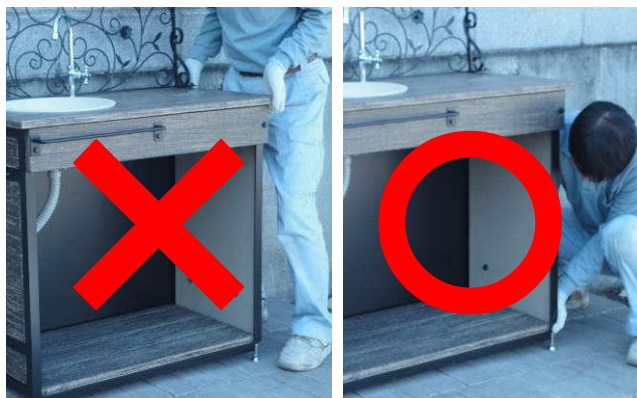
ベッセルシンク、グローリーシンク、コーンシンク、丸型ステンシンクは、付属のゴミ取り網を排水金具に落とし込みます。



⑯オプションのパネルがある場合は、付属のボルトナットで取り付けます。最後に、通水し、漏水がないか確認します。

注意!

天板を持って本体を移動したり、持ち上げたりしないでください。移動する場合は、フレームを下から持ち上げてください。



スツール兼用棚の組立方法

①鋼材の上面に緩衝テープを固定用穴がふさがらないように、貼りつけます。

②座板を乗せ、裏側の穴位置を合わせ、下からワッシャーとゴムワッシャーをかませたボルトで固定します。強く締めつけすぎないように注意してください。